

株式会社 アップドラフト 殿

## 試験報告書

イオン発生器「滝風イオンメディック」による

付着インフルエンザウイルス不活化試験  
**無断転用・転載を禁ず**

株式会社アップドラフト

北環発 2017\_0076 号

2018 年 4 月 9 日

神奈川県相模原市南区北里 1 丁目 15 番 1 号  
一般財団法人 北里環境科学センター  
理事長 伊藤 俊洋

試験内容を公表する際は、結果の表記等について専門的な立場から確認させていただいております。なお、確認目的と申込様式は、ホームページに掲載しております。  
([http://www.kitasato-e.or.jp/?page\\_id=87](http://www.kitasato-e.or.jp/?page_id=87))

表-1 時間経過によるウイルス感染価の変化

試験品	作動時間 (時間)		
	初期 (0)	3	6
対照 (自然減衰)	$1.0 \times 10^6$	$4.5 \times 10^5$	$8.4 \times 10^4$
滝風イオンメディック	$1.1 \times 10^6$	$7.2 \times 10^2$	< 6.3

使用ウイルス : *Influenza A virus*, H1N1, strain: A/PR/8/34

感染価単位 : TCID<sub>50</sub>/mL

ウイルス液の感染価 :  $8.4 \times 10^8$  TCID<sub>50</sub>/mL

検出限界値 : 6.3 TCID<sub>50</sub>/mL

試験空間 : 200 L

表-2 試験品作動によるウイルス不活化効果

試験品	感染価対数減少値 (除去率%)	
	3 時間後	6 時間後
対照 (自然減衰)	0.3	1.0
滝風イオンメディック	3.1 <sup>a)</sup> (2.8) <sup>b)</sup> (> 99) <sup>c)</sup>	> 5.2 <sup>a)</sup> (> 4.2) <sup>b)</sup> (> 99.99) <sup>c)</sup>

- a) 初期感染価からの減少値 :  $\log_{10}$  (初期感染価 ÷ 作動後の感染価)  
小数第 2 位を切り捨てて表記した。
- b) 各時間における対照 (自然減衰) との差 : 試験品の感染価対数減少値 - 対照 (自然減衰) の感染価対数減少値
- c) 除去率 :  $(1 - (1/10^{\text{感染価対数減少値}^b})) \times 100$  (%)

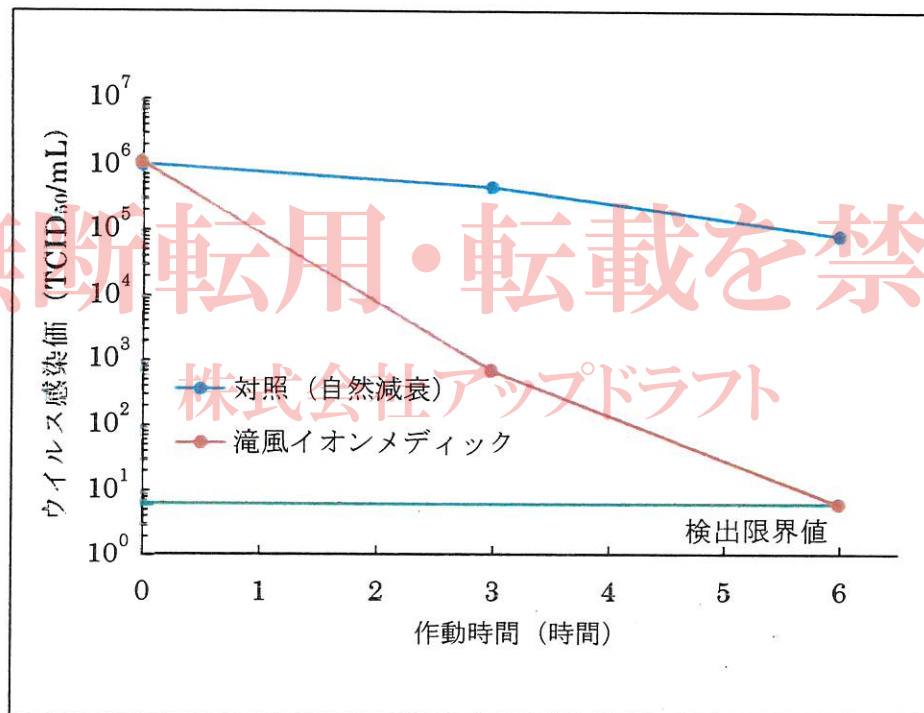


図-1 時間経過によるウイルス感染価の変化